

## 平成30年度 前期選抜の選抜・評価方法

学校番号 8

千葉県立検見川高等学校 全日制の課程 普通科

### 1 期待する生徒像

基本的な生活習慣が身に付いており、入学後も積極的に学校生活に取り組む意志があり、次のいずれかに当てはまる生徒

ア 学習成績が特に優れている。

イ 部活動、生徒会活動、地域等のスポーツ、文化活動、その他長期にわたる継続的な活動等で優れた実績を有し、学習成績が優れている。

### 2 選抜資料

(1) 学力検査	5教科の学力検査の得点
(2) 調査書	中学校の校長から送付された調査書
(3) 作文	字数：500字以上600字以内 検査時間：50分

### 3 評価項目及び評価基準

#### (1) 学力検査 [500点満点]

評価項目	評価基準
5教科の得点合計	5教科（各教科100点満点）の合計500点満点で評価する。

#### (2) 調査書 アの数値に、イ及びエについて加点（上限25点）したものを調査書の得点とする。

評価項目	評価基準
ア 教科の学習の記録	算式1で求めた数値で評価する。 評定1または未評価の教科がある場合は、審議の対象とする。
イ 出欠の記録	3か年皆勤である場合は、加点する。 3年間の欠席が合計30日を超える場合は、審議の対象とする。
ウ 行動の記録	総合的に判定する際の参考とする。
エ 特別活動の記録 部活動の記録 特記事項	次の(ア)及び(イ)について、それぞれ加点する。 (ア) 部活動等の継続的な活動又は作品展等の短期的な活動における優れた成績 a 部活動等での県大会団体ベスト8以上の大会登録選手 b 部活動等での県大会個人ベスト16以上 c 作品展等での関東以上のレベルの入賞 (イ) リーダーシップ等の実績及び取得している検定 a 生徒会本部役員 b 部活動の部長 c 実用英語技能検定準2級以上 d 日本漢字能力検定準2級以上 その他に評価すべき点がある場合は、総合的に判定する際の参考資料とする。
オ 総合所見	総合的に判定する際の参考とする。

(3) 作文 [15点満点]

評価項目アについて、a（適切である）・b（字数が超過している）・c（字数が不足している）の3段階で評価し、aを5点、bを3点、cを1点とし、5点満点で評価する。

評価項目イについて、2人の評価者がそれぞれa（優れている）・b（適切である）・c（問題がある）の3段階で評価する。aを5点、bを3点、cを1点とし、2名の評価者の評価（各5点満点）を合計し、得点化する（10点満点）。評価項目ア、イの評価を合計し、作文の得点とする（15点満点）。

評価項目イに評価cがある場合は、審議の対象とする。

評価項目	評価基準
ア 字数	指定された字数に対して過不足がない。
イ 内容	テーマを理解し、全文を通して主旨を明確に表現している。

4 選抜方法

(1) 選抜の方法

「学力検査の成績」、「調査書の得点」、「第2日の検査（作文）の得点」を全て合計した「総得点」により順位をつけ、各選抜資料の評価等について慎重に審議しながら、予定人員までを入学許可候補者として内定する。

<総得点の満点の内訳>

学力検査 の成績	調査書の得点		第2日の検査の得点	総得点
	評定（算式1）	加点	作文	
500点	$(135 + \alpha - m)$ 点	25点	15点	$(675 + \alpha - m)$ 点

（算式1） $\alpha$ ：県が定める評定合計の標準値95

$m$ ：当該志願者の在籍する中学校の第3学年（義務教育学校にあっては、後期課程の第3学年）の評定の全学年の合計値の平均値

(2) その他

自己申告書が提出された場合には、選抜資料に加える。ただし、提出されたことにより、不利益な取扱いはしない。

5 その他

過年度卒業者については、第2日の検査終了後、別途個人面接を行う。